

第3章 市民との協働推進

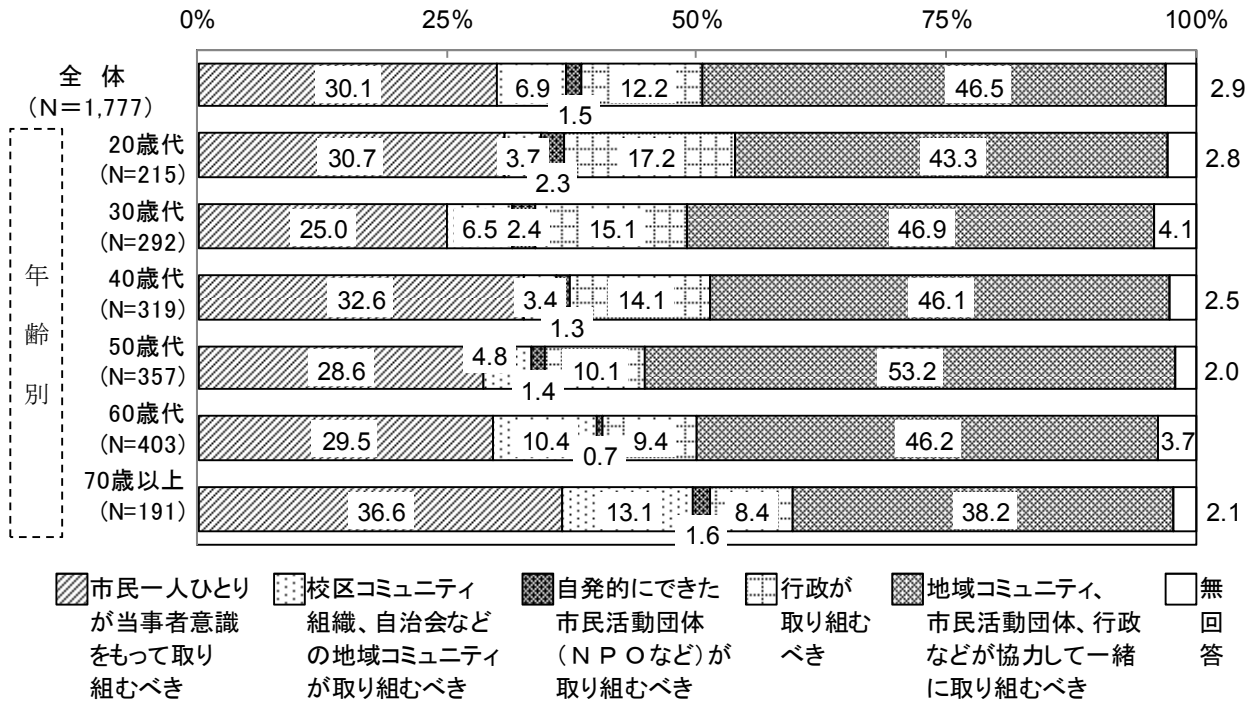
3-1 地域活動

(1) 地域課題への取り組み方

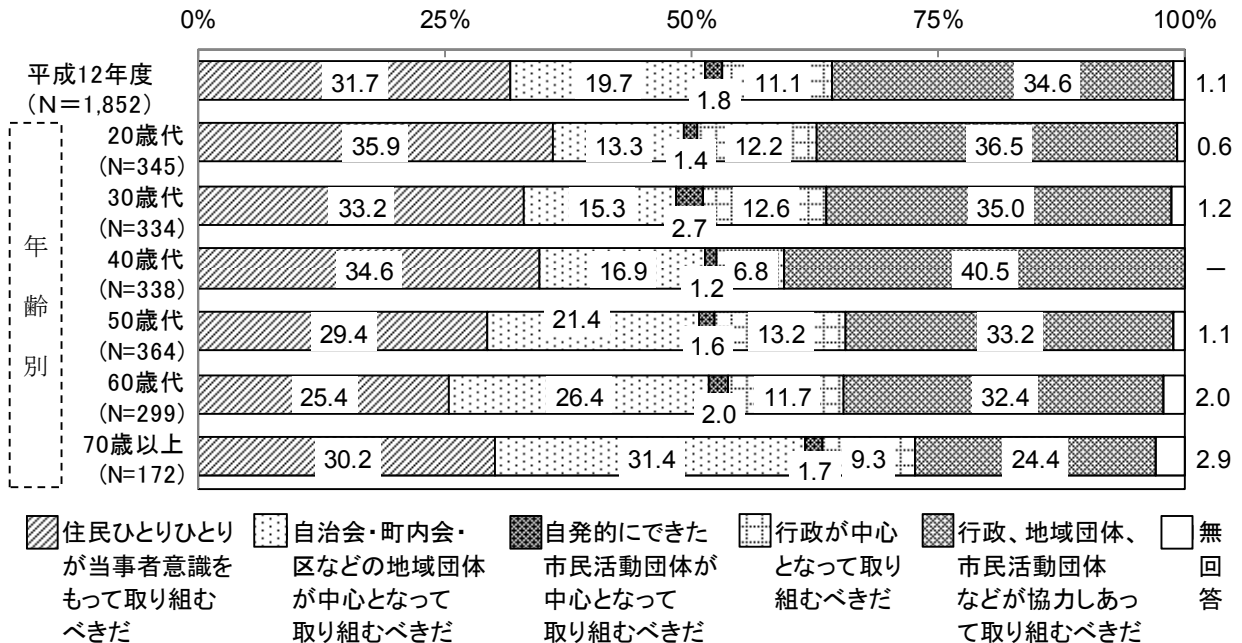
地域の課題に対して「行政が取り組むべき」は12.2%。「地域コミュニティ、市民活動団体、行政等が協力して取り組むべき」が46.5%で、平成12年度と比べて10ポイント以上上昇している。

問16 地域の課題に対する、行政、市民（団体）、地域活動団体の取り組み方について、次のような考え方があります。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。

(あてはまる番号に1つだけ○印)



■図3-1 地域課題への取り組み方(平成12年調査)



◆属性別特徴

【性別】「地域コミュニティ、市民活動団体、行政などが協力して取り組むべき」は男性より女性の方が、「行政が取り組むべき」は女性より男性の方が、それぞれ割合が高い。

【性別・年齢別】「地域コミュニティ、市民活動団体、行政などが協力して取り組むべき」は女性 50 歳代で6割を超え最も高い。「行政が取り組むべき」は男女ともに若年齢層で比較的高くなっており、「校区コミュニティ組織、自治会などの地域コミュニティが取り組むべき」という割合は 60 歳代以上で高くなっている。

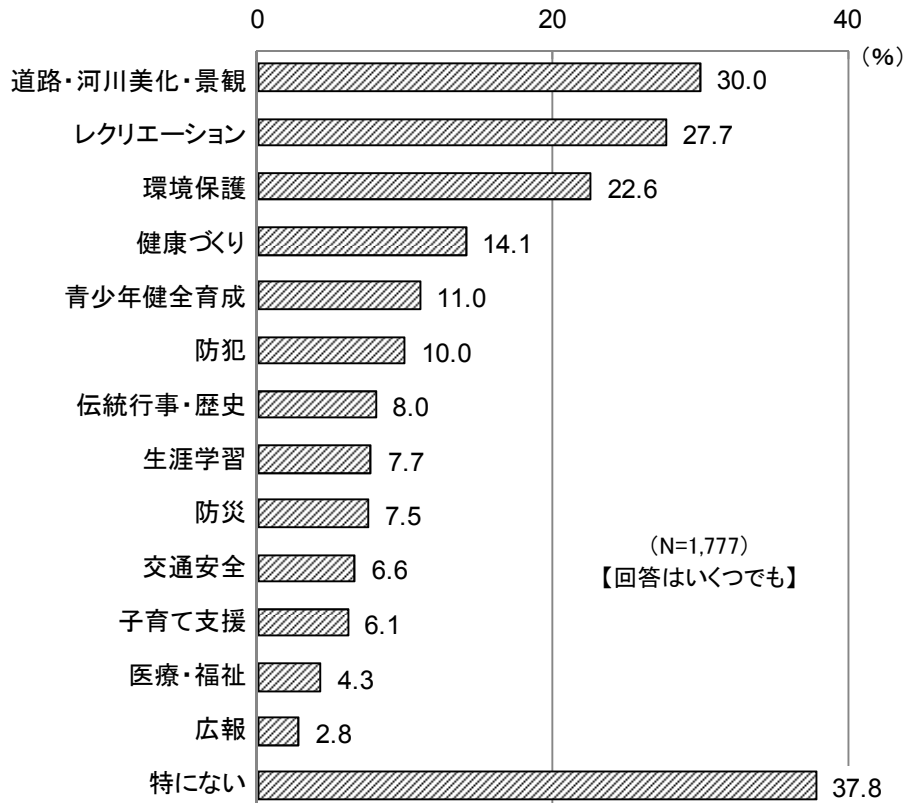
【ブロック別】地域による意識に目立った差は見られない。

		標本数 (票)	行政、市民、地域活動団体の取り組みについての考え(%)					無回答
			り事市 組者民 む意一 べ識人 きをも つり てが 取当	り域織 組コ、 むミ自 ベユ治 きニ会 テな イどテ がのイ 取地組	校 区 ミ ユ ニ テ イ ド テ の イ 組	ど活自 一動発 が团的 取体に り(で 組Nき むPた べO市 きな民	行 政 が 取 り 組 む べ き	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,777)	30.1 (534)	6.9 (122)	1.5 (27)	12.2 (216)	46.5 (826)	2.9 (52)
性別	男性	826	30.9	7.9	1.5	15.3	41.5	3.0
	女性	951	29.3	6.0	1.6	9.5	50.8	2.8
性別× 年齢	男性:20歳代	90	34.4	6.7	1.1	18.9	36.7	2.2
	男性:30歳代	142	26.1	6.3	3.5	19.7	38.7	5.6
	男性:40歳代	132	33.3	3.8	-	16.7	43.2	3.0
	男性:50歳代	160	32.5	6.9	1.3	15.0	43.1	1.3
	男性:60歳代	210	26.7	11.9	1.0	12.4	44.3	3.8
	男性:70歳以上	92	38.0	9.8	2.2	9.8	39.1	1.1
	女性:20歳代	125	28.0	1.6	3.2	16.0	48.0	3.2
	女性:30歳代	150	24.0	6.7	1.3	10.7	54.7	2.7
	女性:40歳代	187	32.1	3.2	2.1	12.3	48.1	2.1
	女性:50歳代	197	25.4	3.0	1.5	6.1	61.4	2.5
	女性:60歳代	193	32.6	8.8	0.5	6.2	48.2	3.6
	女性:70歳以上	99	35.4	16.2	1.0	7.1	37.4	3.0
ブ ロ ッ ク 別	東部A	132	30.3	8.3	-	15.2	43.9	2.3
	東部B(田主丸)	125	29.6	7.2	1.6	8.8	48.8	4.0
	北部A	161	30.4	9.3	0.6	14.3	42.9	2.5
	北部B(北野)	112	26.8	4.5	1.8	20.5	42.0	4.5
	中央東部	219	33.3	5.9	1.4	10.0	45.2	4.1
	南東部	190	27.4	8.4	1.6	6.3	55.3	1.1
	中央部	230	34.8	4.3	0.9	15.2	41.7	3.0
	中央南部	289	29.8	6.2	1.0	12.8	48.8	1.4
	南西部	154	26.6	9.1	3.9	9.7	47.4	3.2
	西部A(城島)	70	32.9	1.4	1.4	14.3	47.1	2.9
西部B(三潁)	95	24.2	10.5	4.2	8.4	46.3	6.3	
近 の 所 程 づ 度 き あ い	毎日でもお互いに家を行き来する	38	36.8	5.3	-	10.5	36.8	10.5
	ときどき家を訪問する	164	29.9	7.9	1.2	6.1	52.4	2.4
	会えば世間話をする	470	28.9	8.3	0.6	7.0	53.2	1.9
	会えばあいさつする	1,010	29.7	6.4	2.0	14.7	44.2	3.1
	つきあいはない	90	37.8	3.3	2.2	22.2	30.0	4.4
無回答	5	20.0	-	-	20.0	60.0	-	
頻 度 別	月に1回以上(『活動派』)	391	28.6	10.0	0.8	7.2	51.2	2.3
	年に1~数回程度	688	28.8	7.1	1.6	11.5	48.4	2.6
	まったく参加していない(不参加派)	690	32.0	4.8	1.9	15.7	42.2	3.5
	無回答	8	37.5	12.5	-	12.5	25.0	12.5
の 自 加 治 入 会 別 へ	加入している	1,255	30.0	7.8	1.2	10.1	48.9	2.0
	加入していない	238	29.0	5.0	2.9	16.0	44.5	2.5
	わからない	234	31.2	4.3	2.1	18.4	38.9	5.1
	無回答	50	32.0	4.0	-	16.0	30.0	18.0

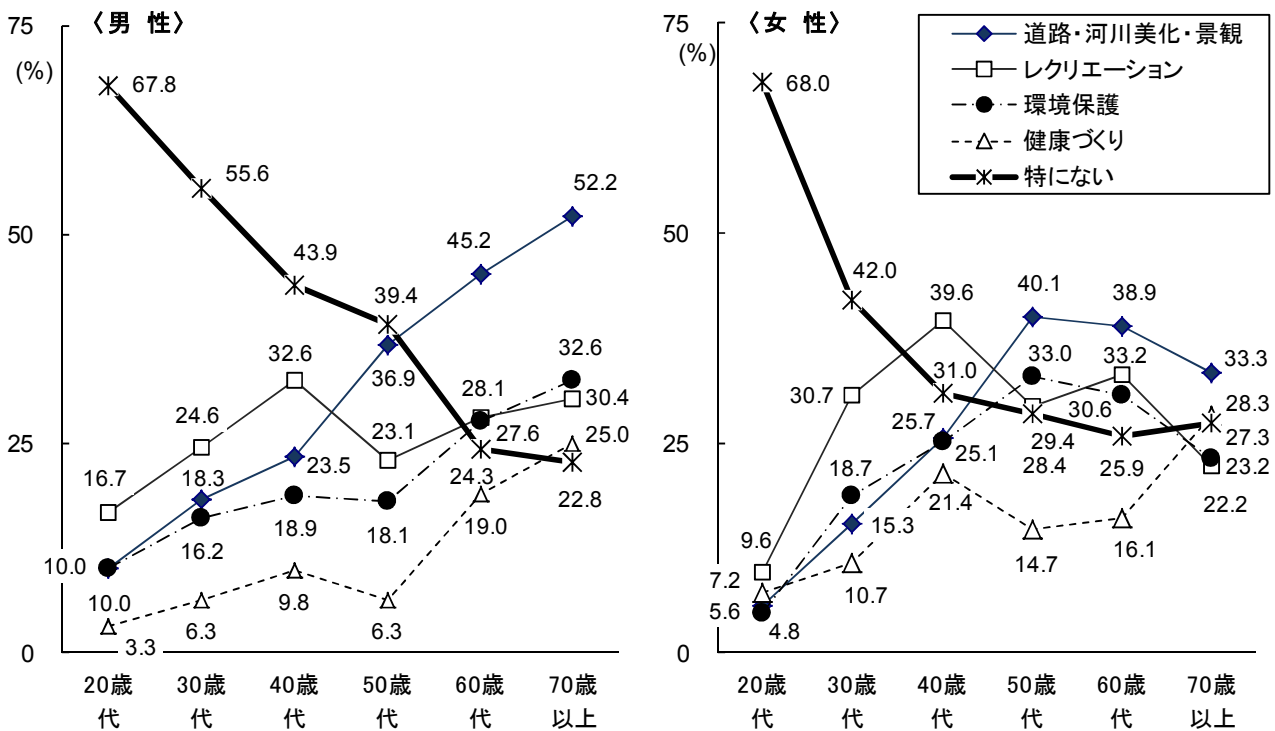
(2) 地域活動への参加状況

「道路・河川美化・景観」「レクリエーション」には約3割がこの1～2年間に参加。70歳以上男性の半数以上は「道路・河川美化・景観」に参加する一方、20代の7割弱は「特にない」。

問17(1) あなたは、この1～2年間に、次のような地域活動、ボランティア活動、NPO活動などに参加したことがありますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



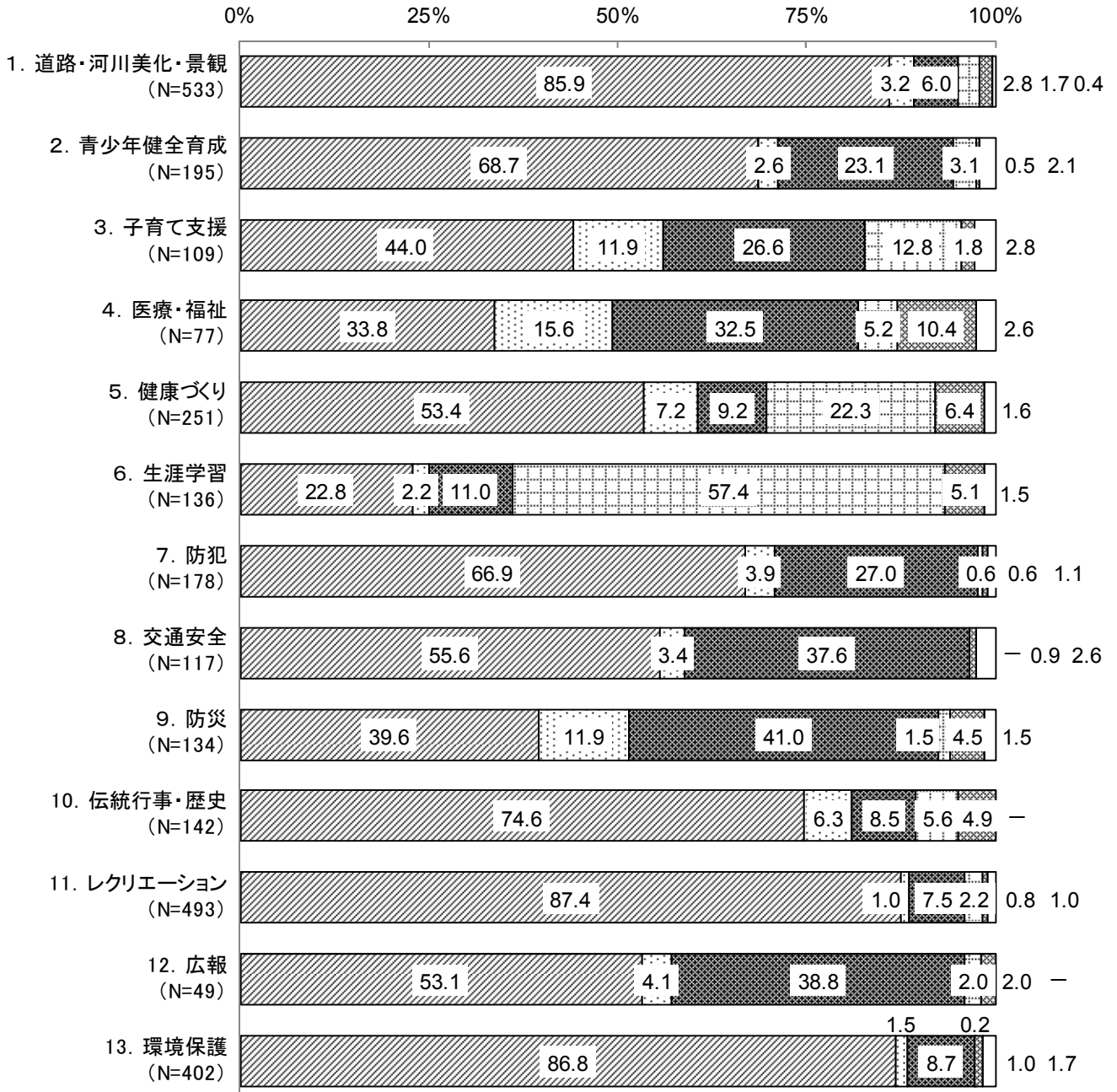
■ 図3-2 性別・年齢別にみた、この1～2年間に参加した地域活動(上位5項目)





活動形態は、「道路・河川美化・景観」や「レクリエーション」、「環境保護」では大半が「自治会・町内会・校区コミュニティ組織・子ども会」での活動。

問 17 (2) 問 17 (1) で○をつけた活動について、それぞれどのような形での活動ですか。
(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)

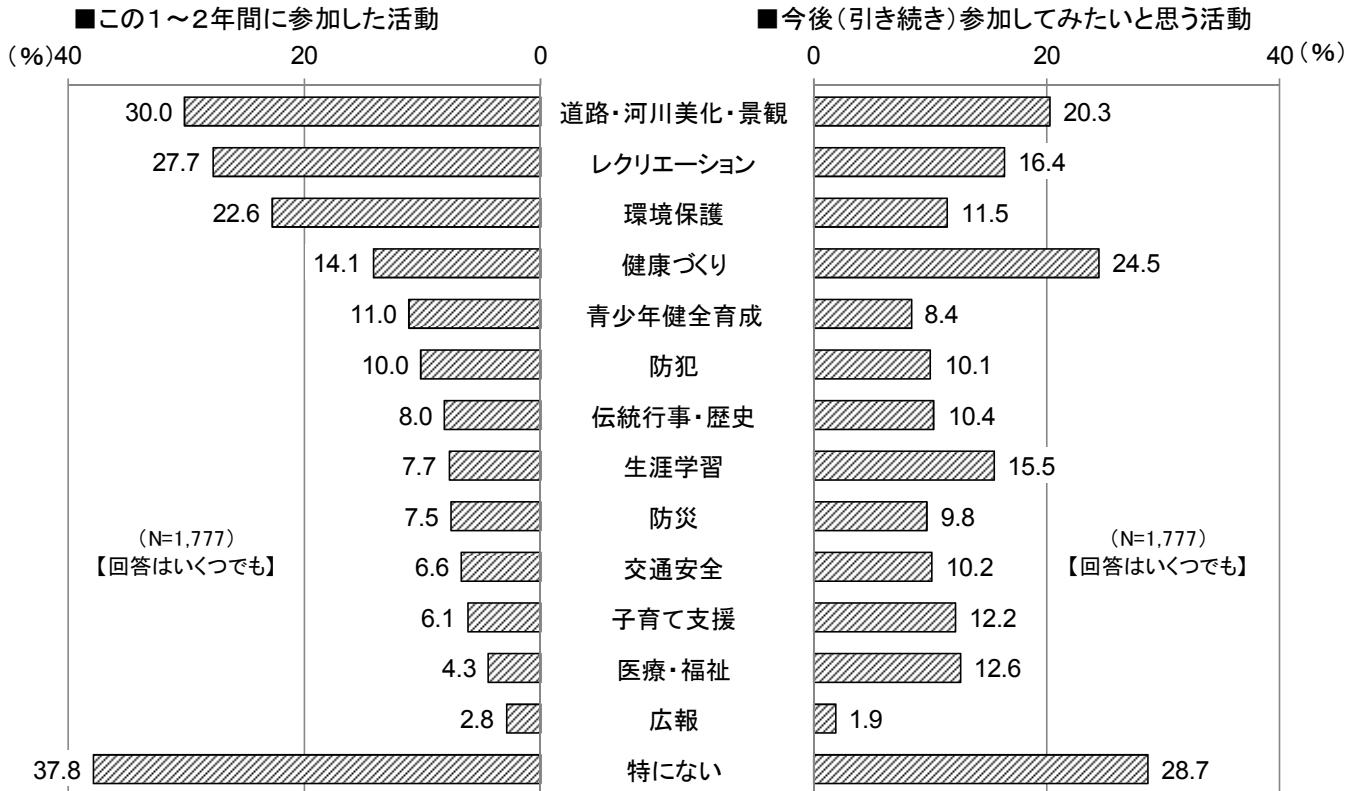


自治会・町内会・校区コミュニティ組織・子ども会
 NPO・ボランティア団体などの市民活動団体
 職場や学校に 関係のある団体 への参加 (PTA・ 商工会など)
 趣味や目的を 同じくする サークル
 その他
 無回答

(3) 今後引き続き、あるいは新しく参加してみたい地域活動

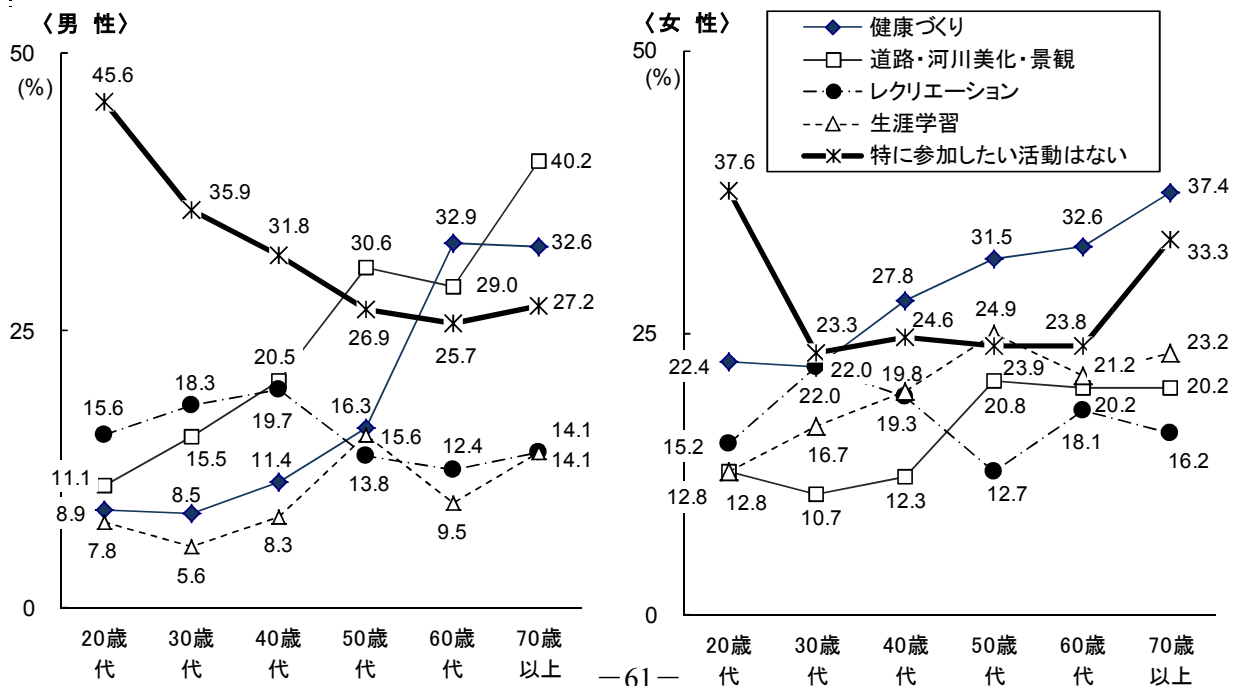
今後参加してみたい活動は「健康づくり」が24.5%で第1位となっているが、3割弱は「特に参加したい活動はない」。

問 17 (3) **全員におたずねします。** (1) の1~13の活動で、あなたが今後引き続き、あるいは新しく参加してみたいと思う活動は何ですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



■図3-3 性別・年齢別にみた、今後引き続き、あるいは新しく参加してみたい地域活動(上位5項目)

◇「健康づくり」の割合は男性60歳代以上、女性50歳代以上で特に高い。「道路・河川美化・景観」の割合は男性70歳以上で特に高くなっている。「生涯学習」への関心は、女性の50歳代と70歳以上で高くなっている。「特に参加したい活動はない」は、男性の40歳代以下と女性の20歳代、70歳以上で3割を超えている。





◆属性別特徴

【性別】「道路・河川美化・景観」「交通安全」の割合は男性の方が、「健康づくり」「生涯学習」の割合は女性の方が高い。

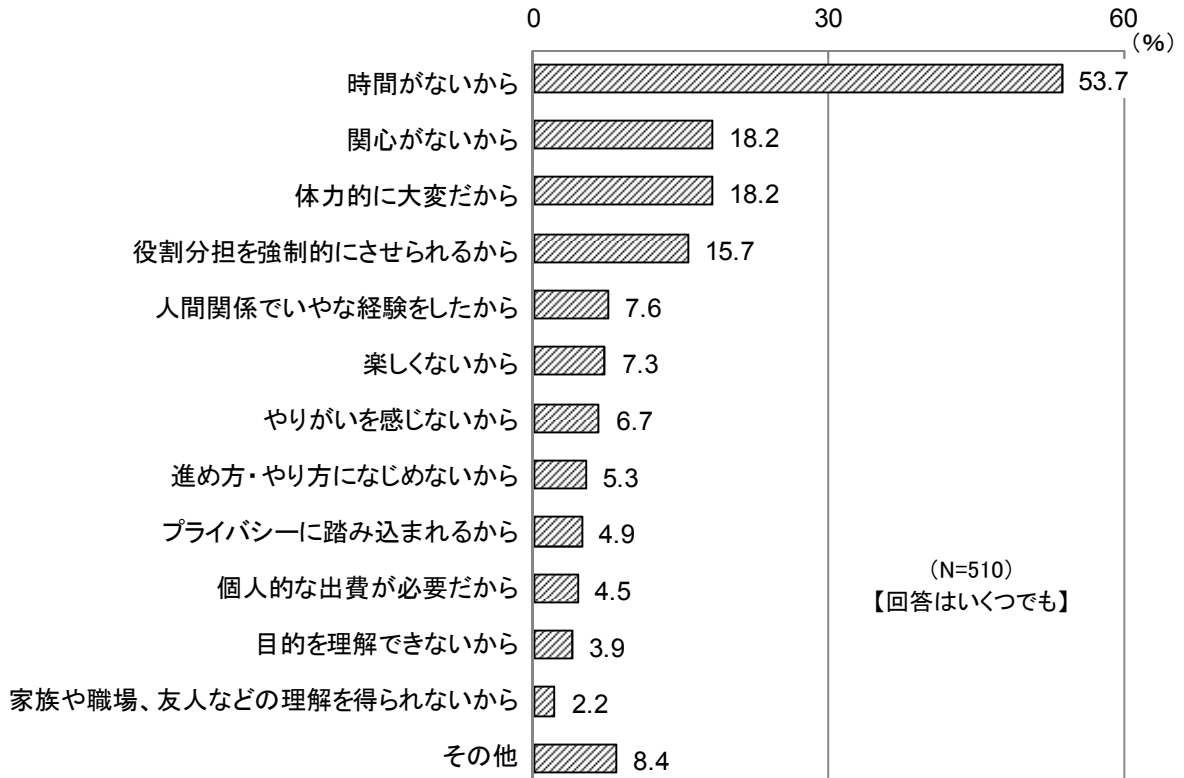
【年齢別】「健康づくり」の割合は60歳代以上で、「レクリエーション」の割合は30～40歳代で特に高くなっている。「特に参加したい活動はない」は20歳代で4割に達している。

【ブロック別】「道路・河川美化・景観」は東部Aと西部Aで、「交通安全」は西部Aで、それぞれ他の地域と比べて割合が高くなっている。

	標本数 (票)	今後の参加意向 (%)														
		景観 道路・ 河川 美化・	青少年 健全 育成	子育て 支援	医療 ・ 福祉	健康 づく り	生涯 学習	防 犯	交 通 安 全	防 災	伝 統 行 事 ・ 歴 史	レ ク リ エ ー シ ョ ン	広 報	環 境 保 護	動 特 に 参 加 し た い 活	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	20.3 (361)	8.4 (149)	12.2 (217)	12.6 (224)	24.5 (435)	15.5 (275)	10.1 (180)	10.2 (181)	9.8 (175)	10.4 (184)	16.4 (291)	1.9 (33)	11.5 (204)	28.7 (510)	4.4 (79)
性別																
男性	826	24.9	10.0	8.6	10.2	19.4	10.2	13.8	14.0	12.5	11.9	15.4	2.4	13.1	31.0	2.9
女性	951	16.3	6.9	15.4	14.7	28.9	20.1	6.9	6.8	7.6	9.0	17.2	1.4	10.1	26.7	5.8
年齢別																
20歳代	215	12.1	2.8	13.0	8.4	16.7	10.7	4.7	5.1	8.4	12.6	15.3	2.3	9.3	40.9	3.3
30歳代	292	13.0	6.2	27.7	15.1	15.4	11.3	13.4	13.4	11.6	9.6	20.2	1.7	10.3	29.5	4.1
40歳代	319	15.7	13.8	16.9	12.5	21.0	15.0	14.4	11.6	15.4	9.1	19.4	2.8	9.7	27.6	2.8
50歳代	357	25.2	8.7	8.1	14.3	24.6	20.7	8.1	7.8	6.2	12.9	13.2	2.0	13.4	25.2	4.8
60歳代	403	24.8	8.9	5.0	11.2	32.8	15.1	8.9	9.9	9.2	10.4	15.1	1.0	13.6	24.8	7.2
70歳以上	191	29.8	7.3	2.6	13.6	35.1	18.8	10.5	13.6	7.9	6.3	15.2	1.6	10.5	30.4	2.6
性別×年齢																
男性:20歳代	90	11.1	5.6	12.2	4.4	8.9	7.8	7.8	6.7	8.9	10.0	15.6	2.2	12.2	45.6	-
男性:30歳代	142	15.5	6.3	19.0	14.1	8.5	5.6	16.9	16.2	16.2	11.3	18.3	2.1	11.3	35.9	2.8
男性:40歳代	132	20.5	15.2	10.6	8.3	11.4	8.3	17.4	13.6	19.7	8.3	19.7	3.0	9.8	31.8	2.3
男性:50歳代	160	30.6	10.6	6.3	10.6	16.3	15.6	13.1	12.5	8.1	15.6	13.8	3.1	15.0	26.9	2.5
男性:60歳代	210	29.0	10.5	2.9	9.5	32.9	9.5	11.4	12.9	11.0	12.9	12.4	1.4	13.8	25.7	5.7
男性:70歳以上	92	40.2	10.9	3.3	13.0	32.6	14.1	16.3	23.9	10.9	10.9	14.1	3.3	16.3	27.2	1.1
女性:20歳代	125	12.8	0.8	13.6	11.2	22.4	12.8	2.4	4.0	8.0	14.4	15.2	2.4	7.2	37.6	5.6
女性:30歳代	150	10.7	6.0	36.0	16.0	22.0	16.7	10.0	10.7	7.3	8.0	22.0	1.3	9.3	23.3	5.3
女性:40歳代	187	12.3	12.8	21.4	15.5	27.8	19.8	12.3	10.2	12.3	9.6	19.3	2.7	9.6	24.6	3.2
女性:50歳代	197	20.8	7.1	9.6	17.3	31.5	24.9	4.1	4.1	4.6	10.7	12.7	1.0	12.2	23.9	6.6
女性:60歳代	193	20.2	7.3	7.3	13.0	32.6	21.2	6.2	6.7	7.3	7.8	18.1	0.5	13.5	23.8	8.8
女性:70歳以上	99	20.2	4.0	2.0	14.1	37.4	23.2	5.1	4.0	5.1	2.0	16.2	-	5.1	33.3	4.0
ブロック別																
東部A	132	33.3	12.9	10.6	14.4	17.4	12.9	15.2	9.8	10.6	15.2	15.9	1.5	16.7	27.3	4.5
東部B(田主丸)	125	24.0	10.4	11.2	11.2	23.2	18.4	4.0	4.8	9.6	12.0	16.8	-	15.2	28.0	3.2
北部A	161	20.5	8.7	13.7	9.9	28.0	15.5	13.0	11.8	8.7	6.2	17.4	1.2	8.7	25.5	4.3
北部B(北野)	112	18.8	10.7	13.4	9.8	22.3	11.6	5.4	12.5	10.7	9.8	11.6	5.4	17.0	31.3	5.4
中央東部	219	11.4	9.6	12.8	11.9	22.4	19.2	12.8	5.9	10.5	9.6	13.7	1.8	9.1	33.3	5.0
南東部	190	28.4	6.3	14.2	10.5	25.8	14.7	8.4	8.9	4.7	10.0	23.7	1.6	14.2	26.3	2.6
中央部	230	14.8	7.4	12.2	12.2	23.9	13.5	10.4	11.3	12.2	10.0	12.6	2.6	8.7	31.3	6.5
中央南部	289	13.1	4.8	10.7	14.5	20.8	15.2	9.7	9.3	10.4	10.4	15.2	2.1	6.9	30.4	5.2
南西部	154	29.2	9.7	10.4	14.9	31.2	16.2	10.4	12.3	10.4	10.4	18.8	0.6	13.6	26.6	1.9
西部A(城島)	70	32.9	10.0	8.6	15.7	34.3	20.0	10.0	20.0	8.6	15.7	20.0	2.9	12.9	25.7	2.9
西部B(三瀬)	95	14.7	7.4	16.8	14.7	29.5	13.7	9.5	13.7	11.6	8.4	17.9	1.1	13.7	22.1	5.3

活動に参加したいと思わない理由は「時間がないから」が第1位。

問 17 (3) 付問 1 問 17 (3) で 14 に回答した人に あなたが、活動に参加したいと思わないのはどのような理由からですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別】「関心がないから」は男性の方が、「体力的に大変だから」は女性の方が割合が高い。

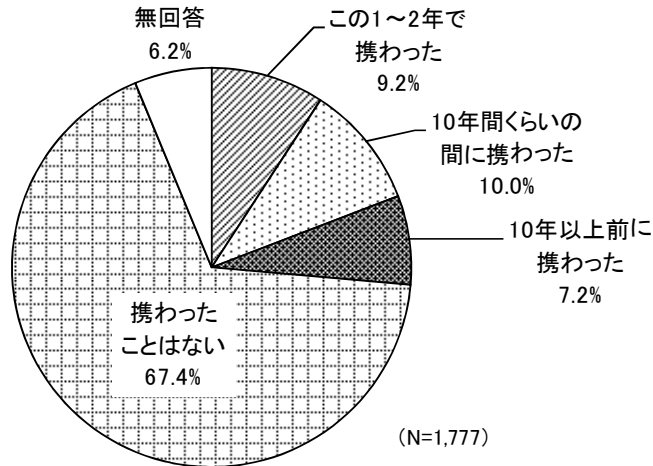
【年齢別】「時間がないから」は 30～40 歳代で、「関心がないから」は 20 歳代で、「体力的に大変だから」は 70 歳以上で、それぞれ特に割合が高くなっている。

	標本数 (票)	参加したいと思わない理由 (%)														無回答
		楽しくないから	関心がないから	やりがいを 感じないから	目的を 理解できないから	進め方・やり方 になじめないから	個人的な 出費が必要だから	時間がないから	に させられる 強制的	役割 分担を 強制的	体力的に 大変だから	み 込まれる から	れ ない から	な どの 理 解 を 得 ら な い	家 族 や 職 場 、 友 人 な ど の 理 解 を 得 ら な い	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (510)	7.3 (37)	18.2 (93)	6.7 (34)	3.9 (20)	5.3 (27)	4.5 (23)	53.7 (274)	15.7 (80)	18.2 (93)	4.9 (25)	2.2 (11)	7.6 (39)	8.4 (43)	3.9 (20)	
性別																
男性	256	8.2	22.3	9.0	4.3	6.6	2.3	53.1	15.6	13.3	4.7	2.7	7.0	7.0	3.1	
女性	254	6.3	14.2	4.3	3.5	3.9	6.7	54.3	15.7	23.2	5.1	1.6	8.3	9.8	4.7	
年齢別																
20歳代	88	10.2	29.5	9.1	5.7	2.3	4.5	63.6	8.0	6.8	3.4	1.1	3.4	6.8	1.1	
30歳代	86	10.5	15.1	7.0	4.7	8.1	11.6	74.4	9.3	12.8	5.8	4.7	8.1	9.3	1.2	
40歳代	88	8.0	17.0	3.4	2.3	2.3	8.0	70.5	21.6	12.5	4.5	3.4	6.8	5.7	3.4	
50歳代	90	5.6	22.2	8.9	3.3	5.6	1.1	50.0	24.4	15.6	6.7	1.1	12.2	3.3	4.4	
60歳代	100	5.0	15.0	6.0	5.0	8.0	-	30.0	19.0	20.0	5.0	1.0	8.0	10.0	7.0	
70歳以上	58	3.4	6.9	5.2	1.7	5.2	1.7	29.3	8.6	53.4	3.4	1.7	6.9	19.0	6.9	

(4) 活動の管理運営に携わった経験

活動の管理運営に携わった経験があるのは全体の約4分の1。「この1～2年で携わった」割合は女性40歳代と男性60歳代以上で比較的高い。

問17(4) **全員におたずねします。** あなたは、これまでに参加した活動のなかで会長や副会長、役員、幹事などの立場で、管理運営に携わったことがありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】性別では傾向に差は見られない。

【性別・年齢別】男性70歳以上では約半数の人が過去に携わった経験をもっている。男性は年齢が上がるにしたがって経験した割合が上昇し、女性は40歳代をピークに低下する傾向にある。男性20・30歳代と女性20歳代では1割にも満たない。

【ブロック別】「携わったことはない」割合は中央南部・南西部・中央部で7割を超えて高くなっている。

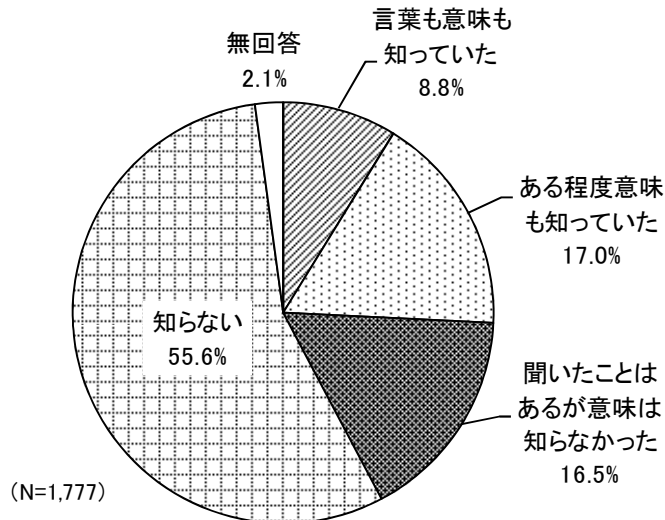
	標本数 (票)	活動の管理運営に携わった経験 (%)				
		この1～2年で携わった	1～10年間に携わった	10年以上前に携わった	携わったことはない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	9.2 (163)	10.0 (178)	7.2 (128)	67.4 (1,197)	6.2 (111)
性別						
男性	826	9.9	10.2	6.8	67.8	5.3
女性	951	8.5	9.9	7.6	67.0	7.0
性別×年齢						
男性:20歳代	90	2.2	3.3	-	93.3	1.1
男性:30歳代	142	6.3	0.7	0.7	88.0	4.2
男性:40歳代	132	9.1	15.2	3.0	72.0	0.8
男性:50歳代	160	6.3	17.5	10.0	59.4	6.9
男性:60歳代	210	15.2	8.1	10.5	59.0	7.1
男性:70歳以上	92	18.5	16.3	14.1	40.2	10.9
女性:20歳代	125	1.6	2.4	-	90.4	5.6
女性:30歳代	150	9.3	7.3	0.7	75.3	7.3
女性:40歳代	187	16.6	16.0	4.3	58.3	4.8
女性:50歳代	197	6.6	10.2	15.7	62.9	4.6
女性:60歳代	193	6.2	11.9	11.4	60.6	9.8
女性:70歳以上	99	9.1	7.1	10.1	61.6	12.1
ブロック別						
東部A	132	7.6	10.6	6.8	68.9	6.1
東部B(田主丸)	125	14.4	18.4	6.4	52.0	8.8
北部A	161	7.5	9.9	8.7	67.7	6.2
北部B(北野)	112	12.5	10.7	7.1	63.4	6.3
中央東部	219	9.6	9.6	6.8	67.6	6.4
南東部	190	11.1	9.5	11.6	63.7	4.2
中央部	230	6.5	9.1	4.3	72.2	7.8
中央南部	289	6.9	5.5	6.2	75.1	6.2
南西部	154	5.2	8.4	7.8	74.7	3.9
西部A(城島)	70	15.7	15.7	10.0	55.7	2.9
西部B(三瀬)	95	13.7	13.7	5.3	57.9	9.5

3-2 協働

(1) 「協働」という言葉の認知

「協働」の意味を『知っていた』割合は全体の25.8%にとどまる。

問 18 ところで、あなたは「協働」という言葉を知っていましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

- 【性別】意味を『知っていた』割合は男性の方が女性より高くなっている。
- 【性別・年齢別】意味を『知っていた』割合は女性 20～50 歳代は1割台なのに対し、男性 70 歳以上は5割を超えている。
- 【ブロック別】地域別で特に差は見られない。

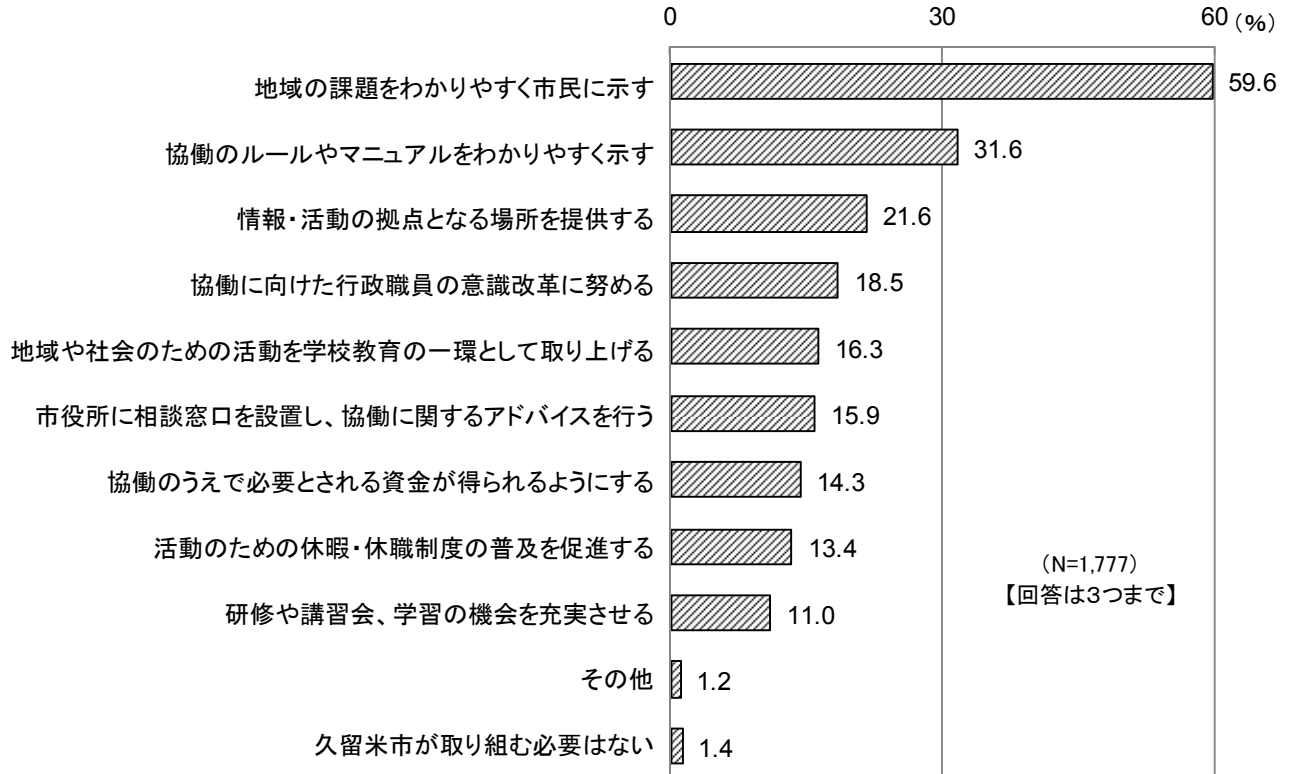
	標本数 (票)	「協働」の認知 (%)					標本数 (票)	「協働」の認知 (%)						
		知言葉も知っていた	ある程度意味も知っていた	聞いたことはあるが意味は知らなかった	知らない	無回答		知言葉も知っていた	ある程度意味も知っていた	聞いたことはあるが意味は知らなかった	知らない	無回答		
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	8.8 (156)	17.0 (302)	16.5 (293)	55.6 (988)	2.1 (38)	全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	8.8 (156)	17.0 (302)	16.5 (293)	55.6 (988)	2.1 (38)	
性別														
男性	826	12.0	20.3	15.0	51.5	1.2	東部A	132	9.8	12.9	18.2	55.3	3.8	
女性	951	6.0	14.1	17.8	59.2	2.9	東部B(田主丸)	125	7.2	16.8	20.0	54.4	1.6	
性別×年齢	男性:20歳代	90	7.8	14.4	16.7	61.1	-	北部A	161	5.6	12.4	18.0	61.5	2.5
	男性:30歳代	142	12.0	14.8	14.1	57.7	1.4	北部B(北野)	112	9.8	15.2	16.1	56.3	2.7
	男性:40歳代	132	8.3	16.7	11.4	63.6	-	中央東部	219	10.0	21.9	16.9	49.8	1.4
	男性:50歳代	160	13.8	15.6	21.3	46.9	2.5	南東部	190	5.8	17.9	16.3	59.5	0.5
	男性:60歳代	210	11.0	26.2	13.8	47.1	1.9	中央部	230	6.1	16.1	18.3	56.5	3.0
	男性:70歳以上	92	20.7	34.8	12.0	32.6	-	中央南部	289	13.5	15.9	11.8	57.8	1.0
	女性:20歳代	125	8.0	11.2	12.8	64.8	3.2	西部A(城島)	70	8.6	20.0	14.3	55.7	1.4
	女性:30歳代	150	6.0	7.3	21.3	60.7	4.7	西部B(三瀧)	95	8.4	20.0	15.8	50.5	5.3
	女性:40歳代	187	3.2	13.4	17.1	64.7	1.6							
	女性:50歳代	197	4.6	12.2	18.8	62.4	2.0							
	女性:60歳代	193	5.7	19.7	18.7	52.3	3.6							
	女性:70歳以上	99	12.1	22.2	16.2	46.5	3.0							



(2) 「協働」のために久留米市が取り組むべきこと

「地域の課題をわかりやすく市民に示す」ことが何より求められている。

問 19 あなたは、市民（団体）と事業者、行政などが協働しやすくなるために、久留米市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（あてはまる番号に3つまで○印）



◆属性別特徴

【性別】「協働に向けた職員の意識改革に努める」の割合が男性の方が高い以外には、目立った差は見られない。

【年齢別】「活動のための休暇・休職制度の普及を促進」の割合は30歳代以下で2割を超えているのに対し、60歳代以上では1割に満たない。

【ブロック別】「地域の課題を分かりやすく市民に示す」は南東部でやや高い。

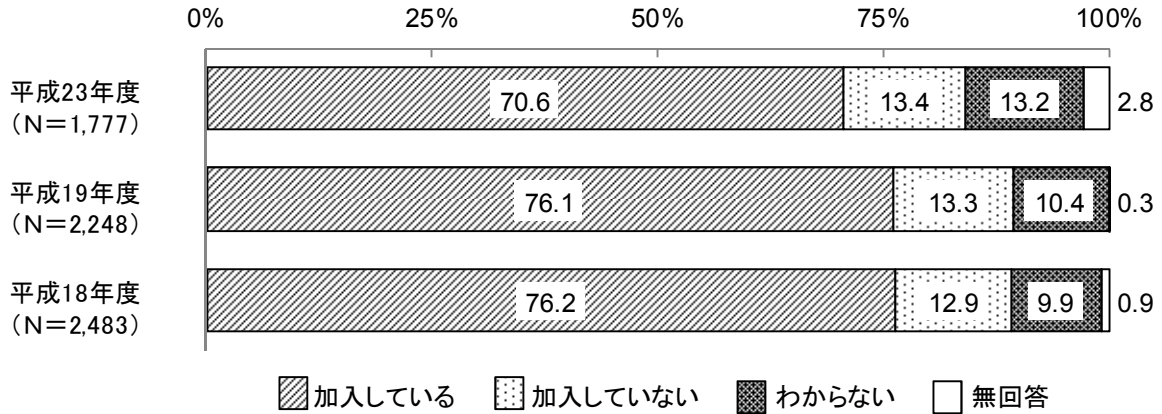
	標本数 (票)	「協働」のために久留米市が取り組むべきこと(%)															
		や地域の課題を示す	情報・場所の提供	ニュースアルをわかり	協働のルール	協働の資金	協働のノウハウ	研修や講習会、学	設置所に協働を	市役所に相談窓	休職制の普及を	活動の機会を	地域や学校での	協働の意識改革に	その他	必要はない	久留米市が
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	59.6 (1,059)	21.6 (383)	31.6 (562)	14.3 (254)	11.0 (195)	15.9 (282)	13.4 (239)	16.3 (290)	18.5 (329)	1.2 (22)	1.4 (25)	7.3 (130)				
性別	男性	826	57.4	20.7	31.5	15.5	10.9	14.8	13.8	14.6	22.9	1.7	2.3	7.3			
	女性	951	61.5	22.3	31.8	13.2	11.0	16.8	13.1	17.8	14.7	0.8	0.6	7.4			
年齢別	20歳代	215	57.2	22.8	23.7	13.0	9.3	15.8	21.9	16.3	17.2	0.5	2.3	4.2			
	30歳代	292	56.5	21.6	32.5	13.0	8.6	10.6	20.5	15.1	17.8	2.4	2.1	9.6			
	40歳代	319	54.2	21.6	35.1	13.2	9.7	15.0	12.5	21.3	18.8	1.6	1.3	5.3			
	50歳代	357	62.5	23.0	31.4	19.6	13.7	18.2	15.7	16.0	21.3	0.8	0.3	3.9			
	60歳代	403	62.5	21.1	30.8	12.9	9.9	17.6	6.2	15.1	19.4	0.7	1.0	9.2			
	70歳以上	191	64.4	18.3	35.6	12.6	15.7	17.3	5.8	13.1	13.6	1.6	2.6	13.1			
	性別×年齢	男性:20歳代	90	55.6	21.1	20.0	11.1	12.2	14.4	22.2	15.6	21.1	1.1	4.4	1.1		
男性:30歳代		142	49.3	16.9	31.0	12.7	8.5	11.3	27.5	11.3	21.8	4.2	3.5	11.3			
男性:40歳代		132	50.0	18.9	43.2	15.2	6.8	14.4	12.9	15.2	27.3	2.3	2.3	6.8			
男性:50歳代		160	63.1	25.6	26.3	24.4	14.4	18.1	15.6	12.5	23.8	1.3	-	1.9			
男性:60歳代		210	59.0	21.4	31.4	12.9	10.0	15.2	5.2	17.1	22.9	0.5	1.9	9.0			
男性:70歳以上		92	68.5	18.5	35.9	15.2	15.2	14.1	2.2	16.3	18.5	1.1	3.3	13.0			
女性:20歳代		125	58.4	24.0	26.4	14.4	7.2	16.8	21.6	16.8	14.4	-	0.8	6.4			
女性:30歳代		150	63.3	26.0	34.0	13.3	8.7	10.0	14.0	18.7	14.0	0.7	0.7	8.0			
女性:40歳代		187	57.2	23.5	29.4	11.8	11.8	15.5	12.3	25.7	12.8	1.1	0.5	4.3			
女性:50歳代		197	61.9	20.8	35.5	15.7	13.2	18.3	15.7	18.8	19.3	0.5	0.5	5.6			
女性:60歳代	193	66.3	20.7	30.1	13.0	9.8	20.2	7.3	13.0	15.5	1.0	-	9.3				
女性:70歳以上	99	60.6	18.2	35.4	10.1	16.2	20.2	9.1	10.1	9.1	2.0	2.0	13.1				
ブロック別	東部A	132	61.4	25.0	29.5	17.4	6.8	18.2	16.7	16.7	15.2	0.8	2.3	6.1			
	東部B(田主丸)	125	58.4	20.0	28.8	17.6	12.0	14.4	17.6	12.0	16.0	1.6	1.6	8.8			
	北部A	161	60.2	16.1	29.8	13.7	9.9	14.9	17.4	20.5	16.1	0.6	2.5	7.5			
	北部B(北野)	112	56.3	18.8	35.7	11.6	10.7	13.4	14.3	14.3	25.9	2.7	1.8	8.0			
	中央東部	219	55.3	24.7	31.1	16.0	9.1	10.5	13.7	16.0	18.3	2.3	0.5	12.8			
	南東部	190	71.6	23.7	37.4	14.7	13.2	20.0	9.5	14.7	18.4	0.5	1.1	2.6			
	中央部	230	53.0	20.0	29.1	13.0	10.0	18.3	9.6	16.5	18.3	1.7	1.7	8.7			
	中央南部	289	57.8	22.5	30.8	10.4	9.7	16.6	13.8	20.1	18.7	1.4	1.4	5.2			
	南西部	154	64.3	22.1	33.8	12.3	14.3	13.6	15.6	16.9	14.3	0.6	1.3	6.5			
	西部A(城島)	70	58.6	17.1	40.0	18.6	17.1	14.3	11.4	15.7	31.4	-	-	4.3			
西部B(三瀬)	95	62.1	23.2	25.3	20.0	13.7	20.0	9.5	8.4	20.0	-	1.1	9.5				
市民活動への参加頻度別	月に1回以上(『活動派』)	391	64.5	22.0	36.1	17.4	15.1	17.6	13.0	16.6	18.4	1.3	0.5	4.9			
	年に1〜数回程度	688	60.0	21.9	33.0	15.0	10.9	17.3	12.1	16.6	21.2	0.7	0.7	6.4			
	まったく参加していない(不参加派)	690	56.7	20.9	27.7	11.9	8.3	13.6	15.2	15.9	15.9	1.7	2.6	9.6			
	無回答	8	37.5	25.0	37.5	12.5	50.0	-	-	12.5	12.5	-	-	12.5			

3-3 自治会活動

(1) 自治会への加入状況

自治会へ「加入している」人は約7割で、平成19年度と比較するとやや下回っている。
20歳代では「加入している」より「わからない」の割合が上回っている。

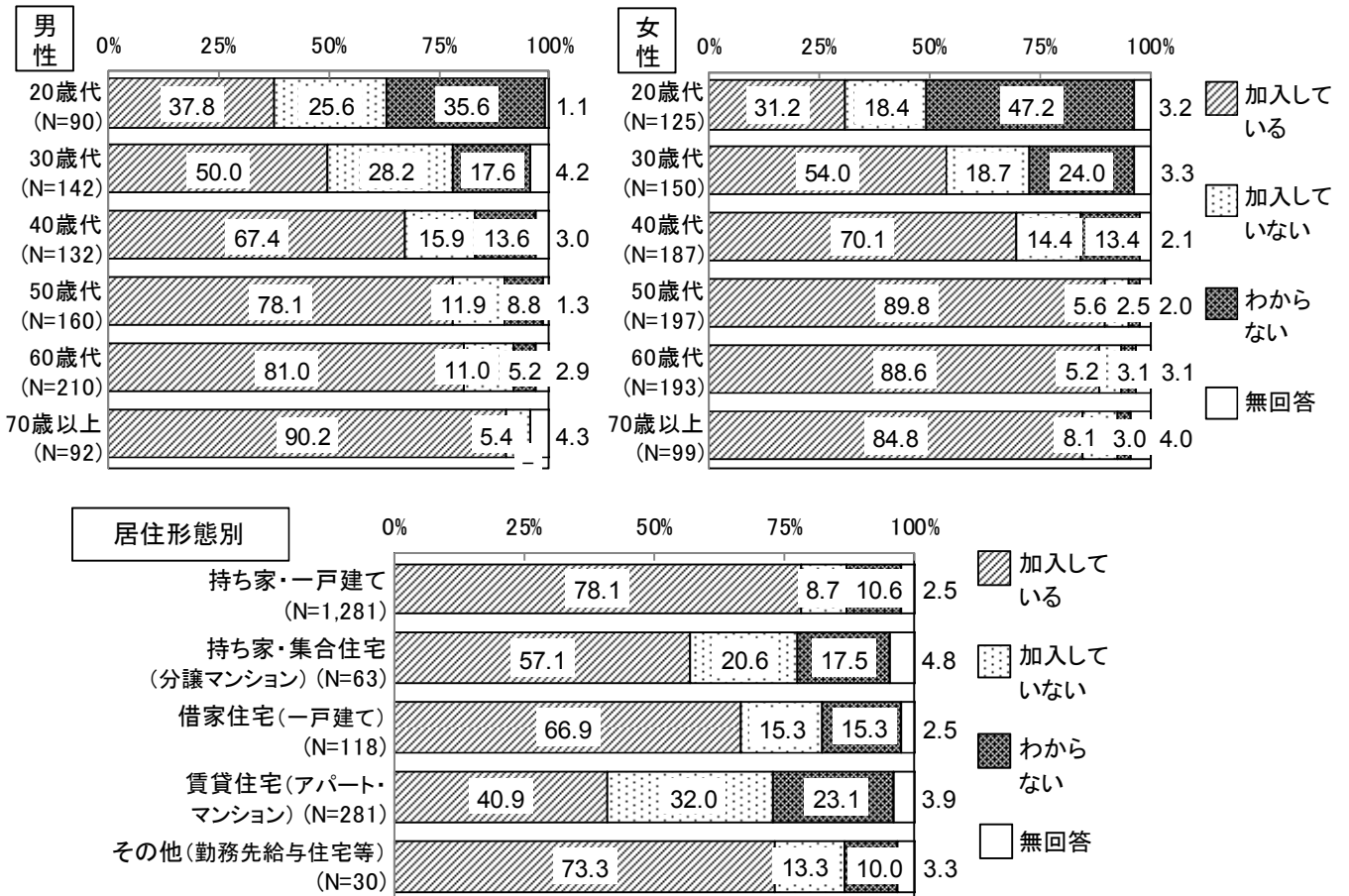
問20 あなたは、居住している地域の自治会に加入していますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



■ 図3-4 性別・年齢別、居住形態別に見た、自治会への加入状況

◇「加入している」割合は男性70歳以上で9割に達しているのに対し、女性20歳代では約3割にとどまる。
女性20歳代の半数弱は「わからない」と回答。

◇居住形態別で「加入している」割合は「持ち家・一戸建て」では8割弱なのに対し、「賃貸住宅」では約4割。



◆属性別特徴

【性別】「加入している」割合は女性の方が、「加入していない」割合は男性の方が、それぞれやや高くなっている。

【年齢別】「加入している」割合は50歳代以上で8割を超えているのに対し、40歳代以下は年齢が下がるほど割合が低くなっている。

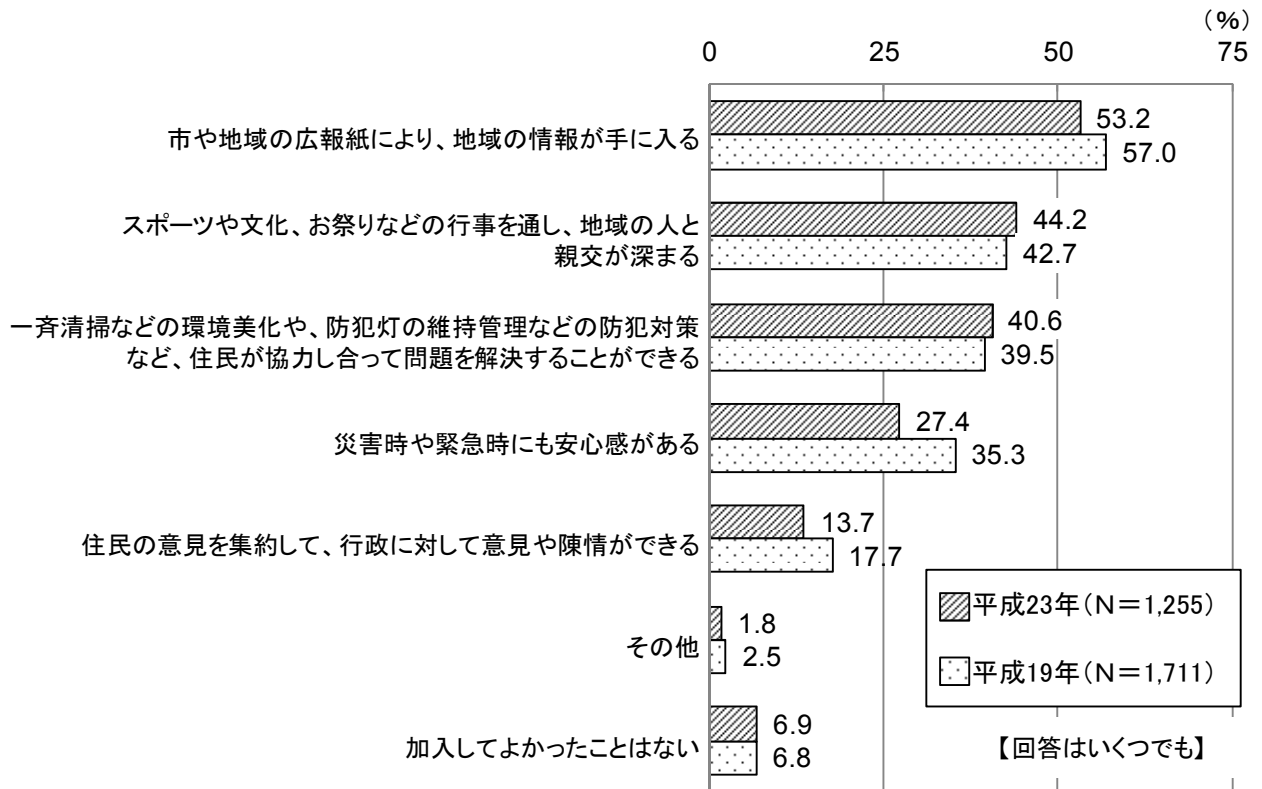
【ブロック別】「加入している」割合は南東部でやや高く、中央部でやや低くなっている。

		(標本数)	自治会への加入状況 (%)			
			い加入して	い加入していない	いわからな	無回答
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,777)	70.6 (1,255)	13.4 (238)	13.2 (234)	2.8 (50)
性別	男性	826	69.2	15.9	12.1	2.8
	女性	951	71.8	11.3	14.1	2.8
年齢別	20歳代	215	34.0	21.4	42.3	2.3
	30歳代	292	52.1	23.3	20.9	3.8
	40歳代	319	69.0	15.0	13.5	2.5
	50歳代	357	84.6	8.4	5.3	1.7
	60歳代	403	84.6	8.2	4.2	3.0
	70歳以上	191	87.4	6.8	1.6	4.2
ブロック別	東部A	132	75.0	9.8	14.4	0.8
	東部B(田主丸)	125	64.0	15.2	16.8	4.0
	北部A	161	69.6	13.7	13.7	3.1
	北部B(北野)	112	77.7	9.8	10.7	1.8
	中央東部	219	69.9	11.9	13.2	5.0
	南東部	190	81.1	9.5	7.9	1.6
	中央部	230	60.0	18.7	16.1	5.2
	中央南部	289	69.2	15.9	13.5	1.4
	南西部	154	76.0	10.4	11.0	2.6
	西部A(城島)	70	61.4	18.6	18.6	1.4
西部B(三瀨)	95	75.8	11.6	10.5	2.1	



自治会に加入してよかったこととしては「地域の情報が手に入る」という声が多く、その傾向は平成19年度調査と変わっていない。

問20付問1 **問20で1に回答した人に** 加入してよかったと思うことは何ですか。
 (あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別】「地域の情報が手に入る」「災害時や緊急時にも安心感がある」は女性の方が、「地域の人と親交が深まる」は男性の方が割合は高い。

【性別・年齢別】「地域の情報が手に入る」の割合は女性30・40・60歳代で高く、男性20歳代で最も低い。「住民が協力し合って問題を解決できる」は高齢層になるほど割合も高くなる傾向にあり、「災害時や緊急時にも安心感がある」についても女性60歳代以上で高い。一方、「スポーツなどの行事を通し、地域の人と親交が深まる」は女性20歳代で特に低くなっている。

【ブロック別】「地域の情報が手に入る」は中央東部をはじめ、おおむね市の中心部で割合が高いのに対し、「住民が協力し合って問題を解決できる」は西部A、東部Bで割合が高い。また、「地域の人と親交が深まる」の割合も西部Aと西部Bで特に高くなっている。

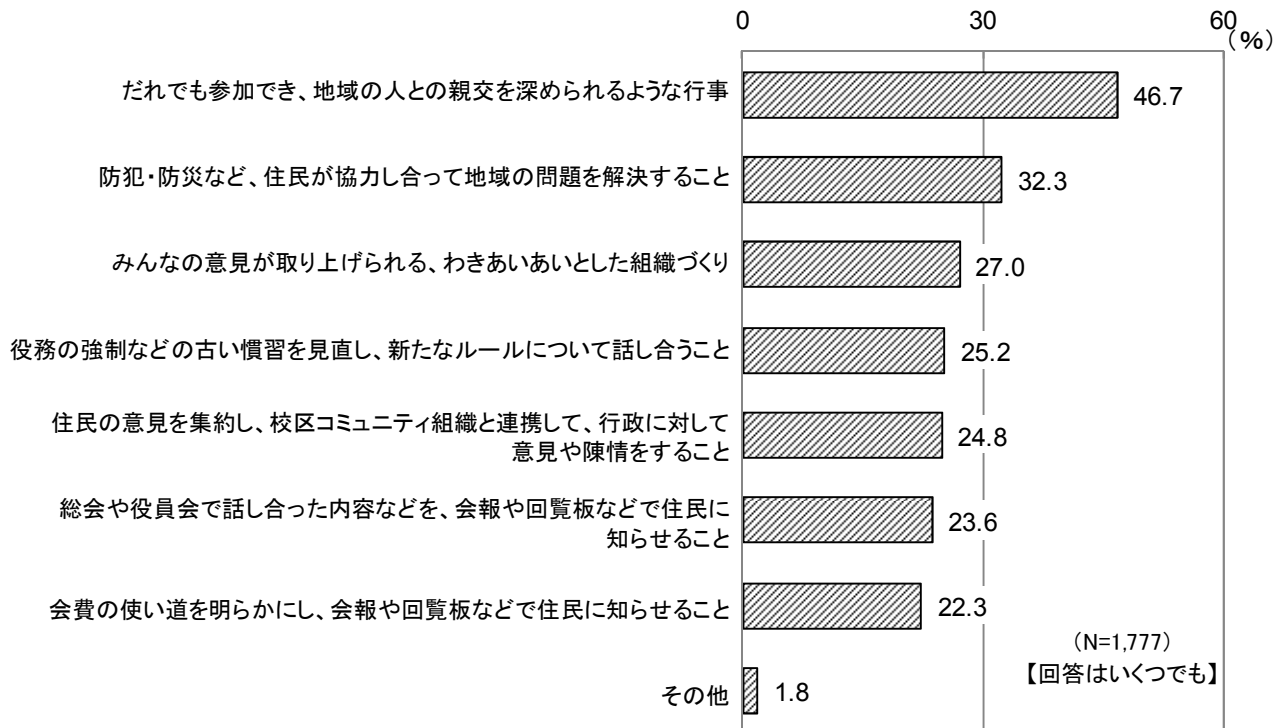
		標本数 (票)	自治会に加入してよかったと思うこと (%)							無回答
			深ま る	ス ポ ー ツ や 文 化 、 お 祭 り な ど の	災 害 時 や 緊 急 時 に も 安 心 感 が あ	市 や 地 域 の 手 に 入 る に よ り 、 地 域	な ど の 住 民 が 協 力 し て い る こ と が で き る	犯 罪 の 防 犯 策 を 一 起 掃 除 な ど の 環 境 美 化 や 防 防	住 民 の 意 見 や 陳 情 が で き る	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,255)	44.2 (555)	27.4 (344)	53.2 (668)	40.6 (510)	13.7 (172)	1.8 (22)	6.9 (86)	3.6 (45)
性別	男性	572	47.7	24.3	47.4	41.6	14.7	1.9	7.3	3.3
	女性	683	41.3	30.0	58.1	39.8	12.9	1.6	6.4	3.8
性別× 年齢	男性:20歳代	34	52.9	8.8	26.5	20.6	5.9	2.9	8.8	8.8
	男性:30歳代	71	52.1	26.8	42.3	28.2	7.0	1.4	11.3	5.6
	男性:40歳代	89	49.4	21.3	50.6	28.1	11.2	2.2	10.1	4.5
	男性:50歳代	125	40.8	27.2	45.6	40.8	16.0	3.2	7.2	1.6
	男性:60歳代	170	47.6	24.7	51.8	50.6	14.7	1.2	5.3	2.4
	男性:70歳以上	83	50.6	26.5	50.6	59.0	26.5	1.2	4.8	2.4
	女性:20歳代	39	20.5	17.9	38.5	20.5	2.6	-	15.4	10.3
	女性:30歳代	81	40.7	24.7	59.3	27.2	14.8	1.2	9.9	3.7
	女性:40歳代	131	45.8	33.6	62.6	31.3	5.3	2.3	6.9	2.3
	女性:50歳代	177	41.2	20.9	57.6	44.1	12.4	2.3	5.1	5.1
女性:60歳代	171	42.1	39.2	60.8	49.1	15.8	1.2	4.7	1.8	
女性:70歳以上	84	42.9	35.7	54.8	46.4	22.6	1.2	4.8	4.8	
ブ ロ ッ ク 別	東部A	99	40.4	25.3	45.5	44.4	14.1	-	12.1	1.0
	東部B(田主丸)	80	37.5	31.3	37.5	55.0	21.3	-	6.3	5.0
	北部A	112	43.8	26.8	53.6	45.5	8.9	2.7	6.3	3.6
	北部B(北野)	87	57.5	28.7	48.3	46.0	17.2	1.1	4.6	3.4
	中央東部	153	39.9	32.7	60.1	35.3	15.7	0.7	7.2	3.3
	南東部	154	45.5	26.0	58.4	47.4	14.3	1.3	7.1	1.3
	中央部	138	33.3	26.1	58.0	29.7	8.7	3.6	7.2	4.3
	中央南部	200	37.5	25.0	59.5	21.5	11.0	3.0	6.5	5.5
	南西部	117	50.4	26.5	52.1	48.7	18.8	1.7	6.8	4.3
	西部A(城島)	43	67.4	27.9	39.5	58.1	14.0	2.3	2.3	2.3
西部B(三瀧)	72	63.9	27.8	44.4	52.8	11.1	1.4	5.6	4.2	



(2) 自治会の今後の取り組み

「だれでも参加でき、地域の人との親交を深められるような行事」を期待する声が多く、70歳以上で割合が特に高くなっている。
若年層では、「会費の使い方を明らかにし、住民に知らせること」の割合が高くなっている。

問 21 自治会において、今後どのようなことに取り組んだらよい、または取り組むべきだと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別】「総会や役員会で話し合った内容などを、会報や回覧板などで住民に知らせること」の割合が女性で特に高くなっているほかは、目立った差は見られない。

【年齢別】「地域の人との親交を深められるような行事」の割合は70歳以上で特に高く6割に達しているほか、20歳代男性でも5割に達している。「役務の強制などの古い慣習を見直し、新たなルールについて話し合うこと」は、30～50歳代で、「住民の意見を集約し、校区コミュニティ組織と連携して、行政に対して意見や陳情をすること」は50～60歳代で、それぞれ割合が高くなっている。

【ブロック別】「地域の人との親交を深められるような行事」は西部Bや西部Aで、「住民の意見を集約し、校区コミュニティ組織と連携して、行政に対して意見や陳情をすること」は東部Bで、それぞれ割合が高い。

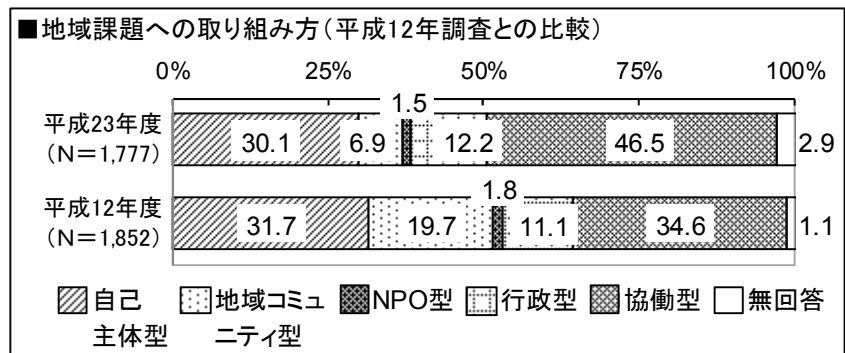
	標本数 (票)	自治会において今後必要な取り組み (%)								
		の だ よ 人 れ う と で な の も 行 親 交 を 深 め ら れ 地 域	を 協 解 力 決 し す る こ と と 地 域 の 住 民 問 題	防 犯 ・ 防 災 な ど の 住 民 問 題	総 会 や 役 員 会 で 話 し 合 う こ と	住 民 に 知 ら せ る こ と	住 民 に 知 ら せ る こ と	し ら み た れ ん 組 織 づ く り あ い と げ	ル 習 に つ い て 話 し 合 う こ と	見 携 区 住 民 の 意 見 を 集 約 し 、 連 携 す る こ と
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	46.7 (829)	32.3 (574)	23.6 (420)	22.3 (397)	27.0 (480)	25.2 (448)	24.8 (441)	1.8 (32)	9.3 (165)
性別										
男性	826	47.7	32.9	20.5	21.8	26.8	26.3	25.2	1.8	9.7
女性	951	45.7	31.8	26.4	22.8	27.2	24.3	24.5	1.8	8.9
年齢別										
20歳代	215	44.7	26.5	14.4	27.0	22.3	19.1	16.3	0.5	7.4
30歳代	292	43.5	26.0	21.6	28.4	26.0	29.1	20.9	2.4	12.0
40歳代	319	42.0	32.3	19.4	20.4	24.8	29.8	22.3	3.1	8.2
50歳代	357	47.3	35.3	25.5	17.9	31.1	28.0	29.7	0.6	5.6
60歳代	403	46.4	35.5	30.0	19.9	27.5	23.6	29.3	1.5	11.2
70歳以上	191	60.7	36.1	27.2	24.6	28.8	16.8	26.2	3.1	12.0
性別×年齢										
男性:20歳代	90	53.3	21.1	10.0	27.8	22.2	25.6	18.9	1.1	3.3
男性:30歳代	142	40.1	24.6	17.6	29.6	26.1	29.6	16.2	2.1	16.2
男性:40歳代	132	40.9	37.9	17.4	20.5	26.5	35.6	22.0	3.0	8.3
男性:50歳代	160	49.4	34.4	21.9	14.4	29.4	28.1	31.9	1.3	7.5
男性:60歳代	210	47.1	35.2	26.7	19.5	26.2	21.4	30.5	1.0	10.0
男性:70歳以上	92	62.0	42.4	22.8	23.9	29.3	16.3	26.1	3.3	10.9
女性:20歳代	125	38.4	30.4	17.6	26.4	22.4	14.4	14.4	-	10.4
女性:30歳代	150	46.7	27.3	25.3	27.3	26.0	28.7	25.3	2.7	8.0
女性:40歳代	187	42.8	28.3	20.9	20.3	23.5	25.7	22.5	3.2	8.0
女性:50歳代	197	45.7	36.0	28.4	20.8	32.5	27.9	27.9	-	4.1
女性:60歳代	193	45.6	35.8	33.7	20.2	29.0	25.9	28.0	2.1	12.4
女性:70歳以上	99	59.6	30.3	31.3	25.3	28.3	17.2	26.3	3.0	13.1
ブロック別										
東部A	132	40.9	29.5	25.8	26.5	32.6	28.0	25.0	-	4.5
東部B(田主丸)	125	49.6	33.6	15.2	13.6	28.0	24.0	37.6	-	11.2
北部A	161	47.8	30.4	25.5	29.2	28.6	29.8	22.4	3.1	7.5
北部B(北野)	112	44.6	32.1	17.9	17.9	36.6	27.7	28.6	2.7	5.4
中央東部	219	40.6	26.9	21.5	20.1	27.4	22.4	23.3	2.7	15.1
南東部	190	51.6	42.1	31.6	24.7	24.7	23.7	31.1	1.1	4.7
中央部	230	43.9	27.4	20.4	19.1	20.4	18.3	17.4	3.0	15.7
中央南部	289	41.5	35.3	23.2	19.7	24.2	23.9	22.1	1.7	8.0
南西部	154	49.4	31.8	26.6	25.3	27.3	28.6	18.8	1.9	10.4
西部A(城島)	70	58.6	32.9	35.7	28.6	38.6	35.7	30.0	-	7.1
西部B(三瀬)	95	64.2	33.7	20.0	28.4	23.2	29.5	30.5	1.1	5.3

考察 —市民との協働推進（市民活動）—

●この10年間で「協働型」で地域課題へ取り組むべきという考え方が10ポイント以上増

市民は、地域課題へ取り組む主体についてどのような意向をもっているのだろうか【p.56】。「地域コミュニティ、市民活動団体、行政などが協力して一緒に取り組むべき」（協働型）が46.5%と最も高く、「市民一人ひとりが当事者意識をもって取り組むべき」（自己主体型）が30.1%で続いている。市民の意向は、「協働型」と「自己主体型」という2つの課題解決モデルに類型化することができる。

平成12年の調査と比較すると、今回の結果は「自己主体型」、「行政型」の比率はほぼ変わらず、「地域コミュニティ型」の減少分13ポイントが「協働型」にほぼ加算されたかたちである。この10年のあいだに、地域課題解決のためには「自治会や地域コミュニティ組織が中心になるべき」という考え方から、自治会や地域コミュニティ組織も他の団体や行政との連携協力関係を構築することが必要という考え方に変わってきたことがうかがわれる。



それでは、「協働型」の意向を強くもつのはどのような市民であろうか。性別・年齢別でみると、男性では、40～60歳代で高いが、女性では、50歳代で最も高く、70歳以上を除くすべての年齢層で男性より高くなっており、50歳代で18ポイント、30歳代で16ポイントの差が現れている。

市民との協働に関わる課題を検討するうえでは、「市民活動への参加頻度」が重要な要因であることはいうまでもない。この1～2年間の市民活動参加頻度が月に1回以上（計22.0%）という市民を『活動派』として一括、「まったく参加していない」（38.8%）を『不参加派』として、これからの調査結果を考察する。「協働型」の意向は、『活動派』では51.2%と全体より5ポイントほど高く、『不参加派』は42.2%と4ポイント低い。また、近所づきあいの程度別で「つきあいはない」と答えた人では30.0%と、全体より17ポイントも低くなっている。

これに対し、「自己主体型」はどうであろうか。性別・年齢別でみると、70歳以上が男女ともに高く、男性20歳代がこれに次ぐ。『活動派』は28.6%、『不参加派』は32.0%、「つきあいはない」は37.8%という結果である。

「行政型」（12.2%）をみておくと、性別・年齢別でみると、男性の20～30歳代、女性20歳代で高くなっている。『活動派』では7.2%、『不参加派』は15.7%、「つきあいはない」は22.2%、「自治会に加入していない」は16.0%という結果で、市民活動に参加していない人や近所づきあいをしていない人ほど、「行政型」の意向を強くもっていることがわかる。

「自己主体型」はどうか。性別・年齢別でみると、男性の20～30歳代、女性20歳代で高くなっている。『活動派』では7.2%、『不参加派』は15.7%、「つきあいはない」は22.2%、「自治会に加入していない」は16.0%という結果で、市民活動に参加していない人や近所づきあいをしていない人ほど、「行政型」の意向を強くもっていることがわかる。

●「近所づきあいはない」「自治会に加入していない」で地域活動に参加していない人が多い

地域活動への参加状況についてみてみよう【p.58】。「道路・河川美化・景観」30.0%、「レクリエーション」27.7%、「環境保護」22.6%の3つが20%を超える比率である。今回の市民意識調査テーマに関わる項目では、「防犯」10.0%、「防災」7.5%、「交通安全」6.6%となっている。

「特にない」は37.8%で、性別では男性40.3%、女性35.6%と男性の方が5ポイント高い。性別・年齢別では男性の20～30歳代、女性20歳代できわめて高く、また、「つきあいはない」では70.0%、「自治会に加入していない」では62.6%と、地域活動に参加していない人は、近所づきあい、自治会といった社会的なつながりから孤立しているすがたがあらためて浮き彫りになっている。

『活動派』の参加状況についてみてみよう。「レクリエーション」56.5%、「道路・河川美化・景観」54.5%、「環境保護」47.8%と、全体の結果と同じ上位3項目であるが比率が著しく高い。このほかでは、「伝統行事・歴史」22.3%（全体8.0%）、「生涯学習」16.9%（全体7.7%）などに、長年これらの活動が盛んに行われてきた久留米らしさがうかがわれる。

市民は、こうした地域活動へどのような形で参加しているのであろうか【p.60】。上位3項目についてみると、「自治会・町内会・校区コミュニティ組織・子ども会」を通じて参加したという市民が、「道路・河川美化・景観」85.9%、「レクリエーション」87.4%、「環境保護」86.8%

■どのような形で地域活動に参加しているか(各活動の特徴)

「自治会・町内会・校区コミュニティ組織・子ども会」を通じて参加する割合が特に高い活動	レクリエーション(87.4%)、環境保護(86.8%)、道路・河川美化・景観(85.9%)、伝統行事・歴史(74.6%)、青少年健全育成(68.7%)
「NPO・ボランティア団体などの市民活動団体」を通じて参加する割合が1割を超える活動	医療・福祉(15.6%)、防災(11.9%)、子育て支援(11.9%)
「職場や学校に関係のある団体への参加(PTA・商工会など)」の割合が比較的高い活動	防災(41.0%)、広報(38.8%)、交通安全(37.6%)、医療・福祉(32.5%)、防犯(27.0%)
「趣味や目的を同じくするサークル」を通じて参加する割合が比較的高い活動	生涯学習(57.4%)、健康づくり(22.3%)

と、いずれも85%を超えるきわめて高い比率となっている。まさに、地域コミュニティを構成する諸団体を通じた参加形態が、結果的に高い参加率をもたらしていることがわかる。

これに対し、安全・安心に関わる活動分野である「防災」「防犯」「交通安全」の3項目は、いずれも「職場や学校に関係のある団体への参加」という形でという割合が高いことが特徴である。ただし「防災」は、「NPO・ボランティア団体などの市民活動団体」を通じて参加という割合が11.9%となっていることには注目したい。「市民活動団体」という形では、「医療・福祉」15.6%で最も高く、「防災」と「子育て支援」が同じ11.9%で2番目である。「防災」の活動については、こうした人材に留意する必要がある。

●女性の活動経験を市民活動の管理運営の中でどう活かすかが重要な課題

こうした活動への参加について、会長・役員などの立場で管理運営に関わった経験の有無を尋ねた【p.64】。「この1～2年で携わった」9.2%、「10年間くらいの間に携わった」10.0%、「10年以上前に携わった」7.2%と、合計26.4%が「管理運営経験」をもっている。これに対し、「携わったことはない」は67.4%と、3分の2に達する。

経験をもつ人についてみると、性別では男女ほぼ同率で、性別・年齢別でみると男性70歳以上で半数の人が経験をもっている。男性の50歳代、60歳代は同じ33.8%であるが、その内訳

をみると60歳代が「この1～2年で携わった」15.2%で高いのに対し、50歳代は「10年間くらいの間に携わった」17.5%で高い。60歳代が自治会などの地域団体の管理運営を「この1～2年で」経験したという現役世代なのに対し、50歳代は「10年間くらいの間に」PTAや子ども会の管理運営を経験した後、現在はまだ他の地域活動では管理運営の経験をしていないという予備軍世代であることがわかる結果である。これに対し、女性は、40歳代36.9%をピークに、70歳以上では26.3%と、年齢が上がるにしたがって低下する。60歳代16.6%、70歳以上21.2%と女性の参加率が比較的高い「生涯学習」活動は、「趣味や目的を同じくするサークル」という参加形態が57.4%と高く、管理運営という経験は生まれにくい。地域活動に関わる管理運営という経験の有無でみるかぎり、加齢とともに役職経験のキャリアアップを重ねる男性と、PTAや子ども会活動から退いたあとはその役職経験を次の地域活動に活かす機会があまりない女性との差異が明らかになる。女性40歳代の「この1～2年で携わった」16.6%、「10年間くらいの間に携わった」16.0%の人がもつ経験を、次の年齢段階で活かす機会（チャンス）を市民活動のなかでどのように創り出していくかが重要な課題である。

地域活動において女性の経験を十分に活かせていない現状は、その地域にとって大きな「社会的損失」といえるだろう。これを変えるためには、地域団体の運営方法の見直しを進めるとともに、そのような経験と市民活動への高い参加意欲をもつ女性の受け皿として、「パートナーシップ（協働）」という新しい運営原理に基づくボランティア活動やNPO活動の活性化が求められる。

— 市民との協働推進（協働） —

●市民の半数以上が「協働」という言葉を「知らない」のが現状

「協働」という言葉の認知状況を尋ねた【p.65】。「言葉も意味も知っていた」と「ある程度意味も知っていた」の合計25.8%が「協働」を認知しており、「聞いたことはあるが意味は知らなかった」は16.5%、「知らない」は55.6%と半数以上を占める。

「協働」を認知している割合は男性（32.3%）の方が女性（20.1%）より12ポイントも高い。性別・年齢別でみると、男性70歳以上が55.5%ときわめて高く、男性60歳代、女性70歳以上と続いている。市民活動参加頻度で『活動派』は36.3%と全体より11ポイント高いのに対し『不参加派』は19.1%、

■「協働」という言葉の認知

	標本数 (票)	「協働」の認知 (%)					
		知 言 つ 葉 も あ る 程 度 意 味 も	も あ る 程 度 意 味 も	知 あ ら な か 意 味 も	知 ら な い	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	8.8 (156)	17.0 (302)	16.5 (293)	55.6 (988)	2.1 (38)	
近 所 づ き の 程 度 別	「会えば世間話を する」以上のつきあい	672	9.7	20.2	18.2	49.9	2.1
	会えばあいさつする	1,010	8.2	15.7	15.6	58.2	2.2
	つきあいはない	90	7.8	6.7	12.2	71.1	2.2
市 民 活 動 参 加 頻 度 別	月に1回以上	391	11.0	25.3	16.9	43.7	3.1
	年に1～数回程度	688	8.7	17.7	18.6	53.5	1.5
	まったく参加して いない	690	7.4	11.7	14.1	64.6	2.2
加 自 治 会 別	加入している	1,255	9.4	18.9	16.9	53.3	1.5
	加入していない	238	7.1	16.4	15.1	58.4	2.9
	わからない	234	6.0	8.1	17.1	67.5	1.3

近所づきあい程度で「つきあいはない」は 14.5%となっている。自治会加入別では、「加入している」(28.3%)と「加入していない」(23.5%)で、5ポイントの差がみられる。

●協働のために行政が取り組むことは「地域課題」「協働の進め方」のわかりやすい説明

協働のために行政(久留米市)が取り組むことについては【p.66】、「地域の課題をわかりやすく市民に示す」59.6%がきわめて高く、「協働のルールやマニュアルをわかりやすく示す」31.6%、「情報・活動の拠点となる場所を提供する」21.6%までの3項目が20%を超える比率である。「広報」「情報」「拠点」に関する項目が上位にあがっている。「久留米市が取り組む必要はない」は1.4%ときわめて少ない。

市民活動参加頻度で『活動派』についてみると、「地域の課題をわかりやすく市民に示す」が64.5%、「協働のルールやマニュアルをわかりやすく示す」が36.1%と、全体より約5ポイント高くなっている。他の項目はあまり変わらない。『活動派』は行政に対し、「地域の課題」と「協働の進め方」のわかりやすい説明を特に求めている。この2つの要望に応えられるよう、的確な情報の提供を行うことで、『活動派』の活動の一層の活性化が図られることだろう。

—市民との協働推進(自治会活動)—

●『活動派』市民は「地域住民の親交」「地域問題の解決」を自治会の役割として高く評価

自治会への加入状況については【p.68】、「加入している」70.6%、「加入していない」13.4%、「わからない」13.2%となっている。明確に「加入していない」と答えた人を性別・年齢別でみると、男性の20歳代(25.6%)、30歳代(28.2%)で高い。女性の20歳代は18.4%、30歳代は18.7%となっており、同じ年齢層でも男女差がみられる。

加入してよかったことについては【p.70】、「市や地域の広報紙により、地域の情報が手に入る」53.2%、「行事を通し、地域の人と親交が深まる」44.2%、「一斉清掃などの環境美化や、防犯灯の維持管理などの防犯対策など、住民が協力し合って問題を解決することができる」40.6%などがあがっている。「加入してよかったことはない」は6.9%と少ない。

性別・年齢別でみると、「市や地域の広報紙により、地域の情報が手に入る」は、女性の30~40歳代、60歳代で、「行事を通し、地域の人と親交が深まる」は、男性の20~30歳代で、「住民が協力し合って問題を解決することができる」は、男性の60歳代、70歳以上、女性60歳代で、それぞれ高い。

これを『活動派』でみると、「行事を通し、地域の人と親交が深まる」が61.9%とトップ、

■市民活動への参加頻度別に見た自治会に加入してよかったと思うこと

	標本数 (票)	自治会に加入してよかったと思うこと 【上位5項目】(%)							
		手よりに 入る	市や地 域の広 報紙が に	人行と 事親交 が深 まる	が問 題を 解 決す る	住 民が 協 力 し 合 つ て	安 心 感 が あ る	災 害 時 に も	見 て や 民 政 意 が 見 え る
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,255)	53.2 (668)	44.2 (555)	40.6 (510)	27.4 (344)	13.7 (172)			
市民活動 参加頻度 別の									
月に1回以上 (『活動派』)	360	54.4	61.9	54.4	34.2	21.4			
年に1~数回程度	589	54.3	44.8	42.6	27.8	13.8			
まったく参加して いない(不参加派)	300	49.3	22.0	20.7	18.3	4.7			

全体より18ポイントも高い。「住民が協力し合って問題を解決することができる」は54.4%と14ポイント、「災害時や緊急時に安心感がある」は34.2%と7ポイント、それぞれ高くなっており、一般の市民と比べて、『活動派』の市民は「地域住民の親交」「地域問題の解決」を自治会の役割として高く評価している。

●市民は、今後の自治会活動の新しい役割について高い関心をもっている

それでは、市民は自治会に対し、今後どのような取り組みを期待しているのでしょうか【p.72】。「だれでも参加でき、地域の人との親交を深められるような行事」が46.7%と高く、以下、7項目すべてが20%を超えている。

本章の冒頭、自治会や校区コミュニティ組織も他の団体や行政と連携協力関係を構築することが必要な時代になったと述べたが、市民はまた、今後の自治会活動の新しい役割について高い関心をもっていることがわかる。すなわち、市民の「自治会離れ」ではなく、「組織・運営改革」による地域課題解決力のパワーアップへの期待の表れである。

性別・年齢別で、7項目の特徴をみてみよう。おおむね、若い世代は「新たなルールづくり」「会計報告」を今後の自治会活動に期待し、中高年世代は「地域住民の親交」「地域問題の解決」を期待している。ここで注目したいのは、「総会や役員会で話し合った内容などを、会報や回覧板などで住民に知らせること」が男性20.5%、女性26.4%と、女性の方が6ポイント高いことである。特に、60歳代、70歳以上で比率が高くなっており、実際にリーダーとして自治会などの地域活動を担う高齢層の男性に対し、同世代の女性が総会や役員会という意思決定過程に関わっていないすがたがうかがわれる結果である。管理運営経験を考察した際、PTAや子ども会活動から退いたあとはその経験を活かす機会をもつことがない女性の問題を指摘しておいたが、まさにその年齢層の女性自身が、今後の自治会改革として「情報の公開と共有」を指摘していることは、重大な課題である。

さらに、「情報の公開と共有」を保証する「わきあいあいの組織づくり」をすべての年齢層が期待していることや、「新たなルールづくり」への要求が若い世代に多いという事実を、自治会活動の運営に当たるリーダーや、その支援を行う行政職員がしっかりと認識し、「組織・運営改革」に取り組んでいかねばならないことを指摘しておきたい。

■自治会において今後必要な取り組み(属性別特徴)

項目名	全体 (%)	性・年齢別特徴 (比率の高いもの)
だれでも参加でき、地域の人との親交を深められるような行事	46.7	70歳以上(60.7%)
防犯・防災など、住民が協力し合って地域の問題を解決すること	32.3	男性70歳以上(42.4%)
みんなの意見が取り上げられる、わきあいあいたした組織づくり	27.0	(特に差は見られない)
役務の強制などの古い慣習を見直し、新たなルールについて話し合うこと	25.2	男性40歳代(35.6%)
住民の意見を集約し、校区コミュニティ組織と連携して、行政に対して意見や陳情をすること	24.8	男性50歳代(31.9%)、男性60歳代(30.5%)
総会や役員会で話し合った内容などを、会報や回覧板などで住民に知らせること	23.6	女性60歳代(33.7%)、女性70歳以上(31.3%)
会費の使い道を明らかにし、会報や回覧板などで住民に知らせること	22.3	20歳代(27.0%)、30歳代(28.4%)